

カイコハナサナギタケ冬虫夏草の新ブランド 天虫花草®

case study

超高齢化社会の日本に必要な備えは何？

高齢者の健康トレンドはメタボ改善から
フレイル*対策へ

*フレイル=Frailty=虚弱



対策が難しい認知症予防に一定の効果が期待できるサプリメントを開発

エビデンスを積み上げ、信頼性の高い機能性表示食品（届出準備中）も開発していきます。

野田 敏樹 Noda Toshiki
ライフサイエンス事業統括部
販売推進部長
☎ 090-8573-2192
✉ tnode@dks-web.co.jp



フレイル対策に サプリメントが注目

日本は世界一の超高齢化社会であり、2025年の認知症患者数は730万人と予測されています。介護保険に関わる財政や介護職員の不足、徘徊の増加、孤独死や虐待など認知症による問題は山積みであり、今後ますます増加する傾向にあります。誰もが人間らしくありたいと願う一方で、認知症を完治させる手段は、今のところありません。

認知症の予防には、フレイル対策が重要であり、運動や食事、脳トレを日常生活に取り入れることが大切です。しかし、運動や脳トレは継続することが難しく、手軽に摂取できるサプリメントが求められています。また、記憶をサポートする機能性表示食品もいくつか発売されており、予防策としても期待されています。

研究が進む、世界初の 新規有用成分「ナトリード®」

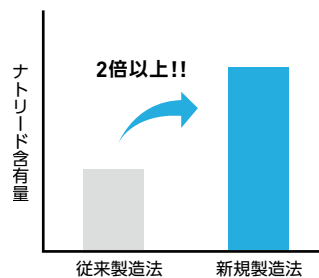
カイコが持つアミノ酸などの豊富な栄養源をもとに成長するカイコハナサナ



〔図1〕 新商品「天虫花草」

ギタケ菌は、その成長過程において、世界初の新規有用成分「ナトリード」を蓄積していきます。このナトリードの細胞実験とマウス実験に関する研究論文が、2021年1月に国際学術誌「PLOS ONE」に掲載されました。

その後、同年6月に「Journal of Alzheimers Disease & Parkinsonism」にも掲載、さらに「Current Topics in Nutraceutical Research」には臨床試験の結果が掲載されました。また、機能性表示食品の届出を目指した臨床試験も終了し、2022年に論文発表を予定しています。



〔図2〕 製造方法改良による
ナトリード含有量の変化

新商品「天虫花草」 3月より販売開始

2022年3月24日、既存商品を進化させた「天虫花草」を発売しました〔図1〕。製造方法を改良し、ナトリード含有量を従来品の2倍以上にすることができました〔図2〕。これにより、1日の摂取量を半分に減らし、カプセルから錠剤にすることで、摂取時のストレスが軽減されました。

天虫花草のパッケージは、ポストインサイズを採用しています。ECサイトではさまざまな決済方法に対応し、定期購入も可能です。多くの皆さまに自信を持って笑顔をお届けできるよう、今後もこのサービスを発展させていきます。

〔表1〕 「天虫花草」と「冬虫夏草」の比較

商品名	ナトリード含有量	剤型	1日あたりの推奨摂取量
天虫花草	冬虫夏草の2倍以上	錠剤	4粒
冬虫夏草	非開示	カプセル	4~8カプセル

天虫花草
公式ECサイト

天虫花草 検索

